

打瀬中小川校長先生とジャイネパール玉置さん



昨年の4月、ジャイネパールでご主人の玉置さん(写真右)に、打瀬中学校に新しい校長先生が来たという話をしたときのこと、玉置さんが校長先生のことを「ああ。小川君ね」と親しそうに呼ぶのに驚いた。いつも潇洒なスーツに身を包み、長身で少しくだけた玉置順さんと、トラッドなスーツで少し硬いイメージの小川好信先生。玉置さんに「知り合いなの」と聞くと「子どもの頃にちょっとね」という。小学校時代の同級生なのか、近所の遊び仲間なのか、つい興味が湧いてお2人の昔の物語を探ってみました。【松村】

最初にインタビューを持ちかけた相手はジャイネパールの玉置さん。でも玉置さんは「小川君は校長先生なので立場がある人だから、まず彼の承諾を」とやや遠慮気味です。ならば小川先生にと中学の入学式の式後に「実は…」と半ばダメかなと思いつきながらお話ししてみました。「いいですよ。

やりましょう」。ちょっと意外でした。小川先生は思っていたよりずっとフレンドリーです。早速玉置さんにも連絡し、始業式が終わって間もない4月17日の放課後に打瀬中学校の校長室でのインタビューとなりました。

2人が初めて出会ったのは40年以上も

前のことです。年齢も同じ2人は、戦後が過ぎ都市に人が集中し、人口が爆発的に増えていた船橋と習志野に住んでいました。小川先生は習志野の中学、玉置さんは船橋の中学と別々の学校に通っていた2人を結びつけたのは子ども会の「ジュニアリーダー」の活動です。

ジュニアリーダーというのは、子ども会の中で下級生たちの世話をし、ゲームを教えたりキャンプの時の指図役になったりする「お兄さん」役の子ども達です。小学生のときから子ども会で過ごしてきた二人はこのジュニアリーダー活動に「はまって」いました。

当時は今のように子ども達が休みの日に「スポーツクラブ」や「習い事」に通うことは一般的ではありませんでした。小学校の子ども達が休日に集まるのは公民館や市民会館のような施設で活動していた子ども会です。今のように携帯のゲームもない頃なので、集まって来た子ども達は勝手に遊んでいましたが、そのうち上級生が下級生の面倒を見るようになり、さらに中学生になるとその中から「ジュニアリーダー」という係が生まれてきました。

ジュニアリーダーは子ども会を運営する大人たちによって選ばれた中学生で、いわば公認の「ガキ大将」。子ども達にとってはヒーロー的な存在でした。

彼らは、それぞれの地域のリーダー代表として県や市のリーダークラブに集まり、30人ほどでレクリエーションのやり方やキャンプの設営方法などの研修を定期的に行っていました。小川先生と玉置さんが知り合ったのはこのリーダークラブの研修会でのことです。

(次のページにつづく)

第21回ベイタウンまつり (5月19日) プログラム

今年も5月19日(土)に第21回となるベイタウンまつりが開催されます。開催時間は10:00～16:00 雨天順延です。8:00～17:00は会場内への車の進入は禁止です。

フリーマーケット

今年は133店が出店します。場所は1、2番街前～コア付近前までのプロムナードです。車両で商品を搬入する方は当日の8:00～9:00の間のみ進入可能です。終了後の搬出は16:30～17:30の間車両が入れます。ハンドキャリーの場合は特に制限はありません。

模擬店

受付は終了しています。当日受付はありません。

時刻	イベント	出演者
10:00	開会式	イベント委員会
10:10	マーくんファミリー & M☆Splash!! ダンスショー	千葉ロッテマリーンズ
10:40	キッズ・ダンス	打瀬子どもルーム
11:10	吹奏楽部・演奏	打瀬中学校
11:50	食育応援隊	千葉県立保健医療大学
12:30	キッズ・フラダンスショー	スタジオカマカニ
13:10	バンド演奏	ノンストップラビット
13:50	子どもから大人までのジャズダンス	ダンススケッチ
14:30	ミルクートワラース	ミルクートワラース
15:10	終了	

校長先生と玉置さんは友達だった (前ページよりのつづき)

子ども会は地域ごとに違いがあり、小川先生のいた習志野では比較的早くから活動が盛んでした。大人の人の中には熱心に子ども会の活動を支援してくれる近所のおじさんのような人がいて、小川少年はそのうちのSさんという人の活動のすごさに圧倒され、自分もいつかこの人のように子ども達の世話をし社会に役立ちたいと思ったそうです。まだボランティアという言葉が一般的ではない時代でした。リーダー活動は高校生、大学生になってもつづき、ほとんど毎週のようにリーダー同士で集まって次の行事の準備をしたり、2泊3日程度のキャンプで子ども達を指導する活動を続け、大学生になってから中学校の先生になろうと決意したのもこの活動からだったそうです。

一方玉置さんの育った船橋は習志野よりも少しリーダーの育成は遅れていたそうです。玉置さんは船橋ではジュニアリーダー第1期生とのことで、なにもかも他の地域の活動から学んだといいます。でも1期生としての誇りは強く、先輩がいない活動の

中で下級生達から寄せられる信頼感がとても自己形成に役だったそうです。玉置少年のジュニアリーダー活動も高校卒業までつづき、大学の都合で船橋を離れてからも同じようなボランティア活動をつづけました。

こんな関係だったので、リーダークラブの中で特に親しい間柄ではなかったようですが、逆にこんな関係が新しい出会いの思いがけなさを生むこととなります。二度目に2人が出会ったのは先にも話したようにリーダー活動からほぼ40年を過ぎた頃です。

教師となってからは小川先生は忙しく、リーダークラブの仲間と頻りに付き合うことはありませんでしたが、今から17年ほど前に小川先生が打瀬中に数学の先生として赴任することになり、そのときにリーダー仲間から玉置さんが打瀬でジャイネパールというカレーレストランを出しているということを聞きました。

赴任後すぐに小川先生はベイタウンの街を歩いて玉置さんのお店を見つめます。打

瀬中に赴任して来たことはまだ伝えていません。驚かせようと思ってのことでした。突然の訪問でしたが、30年ぶりの再会にもかわりなく玉置さんはすぐに小川先生だと分かったといいます。それから9年間小川先生は打瀬中で勤務した後、また市内の他の学校に異動になりますが、昨年4月には校長先生として打瀬中学校に再赴任し、今回のインタビューになりました。

今はベイタウンまつりやもちつき大会などベイタウンの地域行事にも常に顔を出す2人。今もリーダー当時のまま「小川君」、「玉置君」と呼び合う仲です。



子ども記者が伝える

今僕の学校では…

6年生 新学年の抱負

No.20
海浜打瀬小編

最高学年となった6年生。学校全体のために、張り切って活動しています。代表の子どもたちに新年度の抱負を語ってもらいました。

ベイタウンのみなさんが笑顔になるために 【高良 七海】

私は、運営委員を務めることになり、2つのことが大切だと考えています。1つ目は、学校でのあいさつ運動です。みんながあいさつをすれば気持ちよく生活できます。2つ目はクリーン作戦です。全員で参加してベイタウンをもっときれいにしたいです。ベイタウンの皆さんが笑顔になるようこれから活動していきたいです。

最高学年として 【井上 湊介】

葉桜で迎えた入学式。かわいい1年生が入学してきた。ぼくたちピンク帽子は最高学年となった。振り返るとぼくが1年生のころ、6年生はとても大きくかっこよかった。今年、ハッピー活動や委員会でのリーダーになることもあるだろう。海浜打瀬小の最高学年として、頼りになる存在になりたい。

No.1 サポーター 【濱野 広】

ぼくの最高学年としての抱負は、学校のサポーターになることです。なぜなら、学校を楽しいところだと思ってもらえれば1年生から6年生が生き生きと学校で学んでいけると思ったからです。また、毎日の生活の中で、友達や学校の人々を手助けできるようにしていきたいです。そして、立派な6年生になりたいです。

新6年生になって 【川崎 愛】

私が6年生になってがんばりたいことは、最高学年になったので、みんなのお手本になることです。そして、みんなを引っ張っていきたくです。卒業生から受け継いだ海浜打瀬小学校のバトンを1年間しっかりと守って、さらによくするようにがんばっていきたくです。

わたしの目標 【川村 小春】

わたしはいろいろなことに挑戦してみようと思います。小学校生活最後の1年、今までの5年間「やれること」しかやってこなかったで、今度は「やれそうなこと」にチャレンジしていきたいです。わたしの6年間の目標はアリーナのステージに立って、賞状をもらうことなので、それを達成するためにもチャレンジしていきたいと思ひます。

最後の一年だから 【高見 有佑】

6年生になって今、目標にしているのは、最高学年としての意識をもって、低学年のお手本となるようにすることです。もう一つぼくが大切にしていることは、今まで支えられてきた海浜打瀬小学校に、最後の1年間で感謝の気持ちを伝えられるようにしたいということです。その2つをめあてに最後の1年をがんばろうと思ひます。

「最高学年」ということを意識して

【岸本 惺太】

ぼくたちは今年、学校の最高学年になりました。ぼくは入学式で校長先生が「あいさつ」の大切さについて話して下さったことを覚えています。その言葉を胸に今まで先輩が見せてくれていた「背中」を見せられるように気持ちのよいあいさつをしたり礼儀正しくしたりして、下学年の手本となるように努力していきたいです。

最高学年だからこそ 【古澤 杏】

わたしの今年の目標は「当たり前のことを当たり前やる」ことです。一見簡単そうに見えますが、とても難しいことです。当たり前のことといえば、時間を守ったり、宿題を提出したり、人の話を聞いたり、いろいろなことがあります。でも、5年生のとき、当たり前をやっていたことがめんどうだったり、時間がなかったりして、だんだんできなくなってしまいます。時間がないからで終わりにせず、プラスに考えられるように努力していくことも大切です。わたしは、最高学年だからこそ、当たり前のことを当たり前できるようにしていきたいです。



4月9日、アリーナで行われた入学式。6年生が1年生の手をひいて入場しました。

「打瀬第3丁目公園バスケットコート施設管理」にご協力を！ (ベイトウン協議会よりの投稿)

打瀬3丁目公園にバスケットコートがあるのをご存じですか？バスケットコートのある公園はそう多くはなく、打瀬3丁目公園はストリートバスケットができる公園として有名で、若者たちの利用が結構多いのです。海浜大通りから入ってくることで、ベイトウン住民だけでなく、外部の方たちも利用しやすい場所です。

かつては海浜幕張駅前にバスケットコートがあり、多くの若者が利用していましたが、駅前整備に伴いコートは撤去され、その後打瀬3丁目公園に整備されました。昼間の親子連れや子どもたちの利用も多いところです。

ただ、駅前と違い住宅に近接し、ボール音などが近隣住民への騒音被害を生んでいました。深夜に及ぶこともあり「宴会」に発展することも。ベイトウン住民だけでなく外部からも入りやすい、ということもあるからでしょう。

苦情を受けた千葉市美浜公園緑地事務所や西千葉警察所は、夜間の使用はしないよう注意看板を付けパトロールも行なってきましたが、一旦いなくなってもまた再開、

というイタチごっこが続いていました。

昨年夏、自治会連合会、3丁目公園管理運営委員会と、公園緑地事務所が話し合い、さらに大きな看板で注意喚起し、それでも効果がなければゴールリングを撤去するしかない、との判断に至りました。

しかし苦情はなくならず「撤去やむなし」となったころ幕張ベイトウン協議会へ「地域の皆さんは撤去でいいのだろうか、千葉市としてもバスケットコートのある公園は魅力の一つと考えている、住民の自主管理はできないだろうか」という打診がありました。3丁目公園管理運営委員会関係者への相談では、公園が設置された当初バスケットコートはなく、それ以外の部分の自主管理で運営委員会がスタートしていることや、また利用者は不特定多数で「自主管理」にはなじまない、という事情もあり難しいとのこと。

協議会内で検討し「近隣住民の理解を得つつバスケットコートの存続ができないか、苦情があるから撤去、ではなく、注意喚起以外の方法はないか」等、公園緑地事務所と協議した結果、コートにフェンスを付け、

鍵の管理を住民で行ってみることとなりました。

4月から、朝7:00解錠・夜7時施錠が、ベイトウン協議会関係者有志8名で始まっています。この1か月間、朝・夜に出会った中高生・大学生たちは、皆、素直に鍵の施錠に従ってくれます。今後、強風雨の日はどうする、8人ではきついかも、夏の夜7時はまだ明るい、もっと延長できないか…等々課題は山積ですが、ベイトウンの多くの皆様のご協力を得ながら、公園の魅力を維持していきたいと思えます。

(ご協力いただける方はベイトウン協議会 bt-machi@freeml.com までご連絡下さい)

文責：【ベイトウン協議会事務局 湯浅美和子】



ベイトウンに駄菓子屋さん

「ベイトウンで子どもの集まる駄菓子屋さんを始めるのでヨロシク」というメールを佐藤さんからもらったのは昨年未でした。初めて聞くお名前の方だったこともあり、半信半疑で半ば忘れかけていたら3月になって「補助金が下りたので開店できました。ぜひおいでください」と連絡があり、さっそく行ってみました。【松村】

場所はパティオス22番街の打瀬第5公園(遊具のある公園)に面した1階の部屋。行ってみると女性が4人、ヒマそ〜(失礼)な感じでおしゃべりをしていました。駄菓子屋さんといっても部屋の一角の玄関の部分に商品を並べただけで、部屋の中は机が並べられ、普通の部屋という感じです。

駄菓子屋さんを始めた佐藤さんの話では、もともとは料理教室をやっていたのだそうですが、子ども達に料理を教えることもあり、その付き合いの中で子育て中のママ友たちと「子どもの居場所」がないよね、という話になり、それじゃ駄菓子屋でもつくろうという話になったそうです。

部屋の机は子どもが集まって、勉強したり、ゲームをしたりしてもいいので空けるとのこと、将来は大学生や高校生の子が小さい子の勉強を見てあげるようなスペースができればいいな、というのが夢だそうです。

確かに街の中では子どもがゲームをする場所を求めて、あちこちの番街のエントランスを占拠して管理人さんから叱られたりしているし、コアのアトリウムは毎日自習する子どもでいっぱいです。子どもたちに「間」がなくなってしまったと昔中学の校長先生から聞かされましたが、駄菓子屋に

はそんな機能もあるのかも知れません。

取材した日は明日から学校という春休み最終日。「駄菓子屋さんが出来た」という噂はすぐに口コミで広まったようで、学校が始まって10日ほどして再び行くと小さな子ども達とお母さんがたくさん来ていました。

駄菓子屋さんの名前は「UCHI(うち)」。場所は打瀬第5公園に面した22番街。土日を除いて、平日は毎日、特に3時~5時の間は必ず開いているそうです。



駄菓子屋さん UCHIはこの4人で運営されている。子育て中のママ友なのでいつも全員が揃うわけではないが、平日は必ず誰かがお店を開けるようにする。写真左奥が駄菓子屋さんのスペース。

親の「しゃべり場」開催のお知らせ

小・中学校のお子さんをお持ちの保護者を対象に、子育てについて困っていること、日頃子どもと向き合っていること、地域のこと、気分転換等…、何でも話せる会です。少人数グループになり行きます。何かしら解決の糸口になるかもしれません。

子どもに関わっている方ならどなたでも参加できます。

*学区内の小・中学校に通学されているお子さんのご家庭には、月初めにお手紙が配布される予定です。

日時：5月17日(木)10時~12時

場所：ベイトウン・コア 講習室

連絡先：utaseshaberiba@gmail.com

主催：青少年育成委員会

ベイトウンニュースの配布にご協力ください

新年度がはじまり、ベイトウンニュースを配布して下さっていた方が引越しまりや卒業で配布をつづけられなくなりました。毎月でなくても結構です。ベイトウンニュースの配布をお手伝いいただけませんか。

毎月第1土曜日、午前10:00からベイトウン・コアで配布会を開いています。配布会にでられない方には宅配ロッカーまでお届けしています。ベイトウンニュース発行をサポートいただければ助かります。

TEL：043-211-6853、

E-mail：mazmbtn@gmail.com (松村)

●お知らせ「指定管理者制度導入」

4月1日から市内47館の公民館は、千葉市教育委員会から公益財団法人千葉市教育振興財団が管理運営するようになりました。公民館の施設利用につきまして、これまでと変わりありません。なお一層「つどい～まなび～つなぐ」公民館として、地域での役割を果たしていきたいと思ひます。

●職員紹介新メンバー着任

4月から公民館事務室にはこれまでの和田主事（美浜区役所に異動）に代わりまして、清水昌子主事が着任しました。館長（村山）非常勤職員（藤谷、石神）と4人で窓口事務を行います。地域・利用者の皆さまに愛される打瀬公民館であり続けたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

●館長イチ押し公民館講座情報

本年度も昨年度と同様に19の主催講座とコア・サークル連協と共催のコア・フェスタ、アトリウムコンサートを計画しています。ベイトウンニュースの公民館通信や市政だよりでの募集、館内や小学校の教室に掲示する募集ポスターをご覧になって振るってご参加ください。

《6月のイチ押し講座》

・パン作り教室／☆3つ…毎年好評の木下先生のヘルシーなパン作りの教室です。6/15、22、29、7/6（金）全4回の講座です。定員も14名で毎回募集受付はすぐに定員に達してしまう人気の教室なので～☆3つですね。6月の市政だよりで募集します。ご期待ください。



【ほうれん草とベーコンのパン（昨年）】

【6月の主催講座紹介】

◇ぱくぱくキッチンクラブ「小学生お料理教室」

こねこねもちもち水餃子、レタススープ他
日時：6月9日（土）9：30～13：00 ごろ
場所：打瀬公民館調理室、対象：小学3年生～6年生
定員：12名（参加人数に満たないときは中止）
費用：500円、募集期間：5月31日（木）～6月6日（水）
申し込み：直接窓口または電話で

◇パン作り教室（全4回）＊市政だより6月号でも募集

日時：6月15日、22日、29日、7月6日（金）
全4回 13：00～16：30 ごろ
場所：打瀬公民館調理室、定員：14名、費用：2,400円（全4回分）
申し込み：6月2日（月）～直接窓口または電話で

◆講座の詳細は、館内ポスターや小学校の学級掲示ポスターでご案内します。

◆受付、問い合わせ時間は9：00～17：00
打瀬公民館 TEL；296-5100

ベイトウンのガールズバンド "Pinky"

海浜打瀬小学校には自分達の特技を披露する「自慢大会」という名物行事があります。2年前の12月に行われたこの大会で、当時4年生のクラスメートたちが偶然楽器を習っている人が他にもいることを知り、バンドを結成して出演し話題になりました。平塚さん（ボーカル）、中村さん（ギター）、王さん（キーボード）、鈴木さん（ドラム）、の女子4人（現6年生）です。

この自慢大会ですっかり自信がついた4人はその後もバンドを続けようと考え、鈴木さんのお姉さん（ベース）を加えて1年程前から本格的に練習をスタート。バンドの名前も"Pinky"と決めて今も活動を続けています。

楽器を弾ききっかけを聞いたところ、メンバーのほとんどが親から勧められて楽器を手にして習い始めたところ、どんどん楽しくなってきたとのこと。最初は家の中でみんなで集まっての練習だったのが、最近では音楽スタジオに集まって月に1～2回しっかり練習をし、今では楽器店のコンテストにも出場するなど活動の場を徐々に広げています。「自分たちでオリジナル曲を作るのが夢」だそうです。

そんな彼女達が若葉地区で5月13日（日）に開催される、音楽とアートのまちづくりのイベント「Makuhari Neighborhood jam Art & Music」に参加します。このイベントでは音楽とアートのコラボレーションをテーマとして、彼女達のライブのほか書家の白石雪妃さんとサクソ奏者の徳田雄一郎さんとのパフォーマンスも企画されています。

イベントは5月13日（日）13：00～16：00、幕張BASE × LIBRARY @ pod で開催され、¥2500です。

<お問い合わせ>

メール：makuhari.play@gmail.com、携帯：090-9005-7906（佐藤）



5月のコア・イベント

わくわくおはなし会 5月のおはなし会はお休みです

5月のわくわくおはなし会はベイトウンまつりのためお休みです。

次回のおはなし会は

日時：2018年6月16日 第3土曜日 午前10：30から

場所：ベイトウン・コア講習室

次回もわくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

お問合せ先 chibawaku2@freeml.co

5月の寺子屋工作ランドはベイトウンまつりのため、お休みです。

第171回ファツィオリの会

日時：2018年5月27日（日） 午前10：00～

場所：ベイトウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。

締切：2018年5月20日（日）

申込先：笠原 (tel/fax)275-3163

ベイトウンニュース記者を募集しています

ベイトウンニュースの記者を募集しています。中学生以上でベイトウンに住み、好奇心旺盛な方で、毎月第1土曜日のニュース配布会に参加できる方ならどなたでもどうぞ。記事を書かなくても助けてもらいたいことはたくさんあります。よろしくお願ひします。

TEL：043-211-6853、E-mail：mazmbtn@gmail.com（松村）